

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

ロータリーで良いことをしよう

高田ロータリー  
今年のスローガン

変化を楽しもう



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度

国際ロータリー会長 **ホルガー・クナーク**  
2560地区ガバナー **佐藤 真**  
高田ロータリー会長 **大島 誠**  
幹事 **伴 長門**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッツ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員会：  
齋藤 尚明・飯塚 宏佳・佐藤 信・齋藤 俊幸

第38回例会 5月28日(金)

No.36

会長挨拶 ●大島 誠



皆さんこんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。私も昨日「福祉施設の管理者」ということで、新型コロナウイルスの1回目のワクチン接種を受けました。世の中ではワクチン接種による副反応を心配される方もおられるようですが、22日に開催された次年度の地区研修協議会の実行委員長はお医者さんのようで、閉会の挨拶の時、「身体の中でウィルスと戦うワクチンを接種するのだから副反応は当たり前。特に、2回目は1回目より反応が大きいのは当たり前。心配しないで！」と、訴えていらっしゃいました。地区協議会の研修の中で一番記憶に残ったスピーチでした。

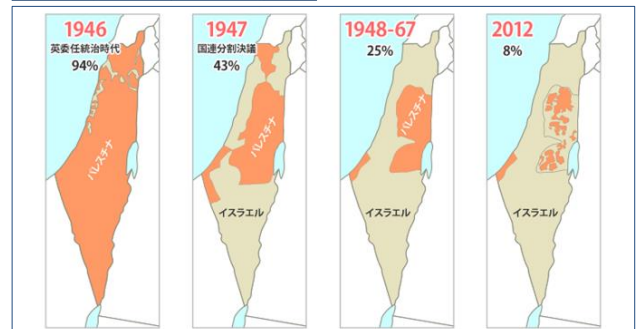
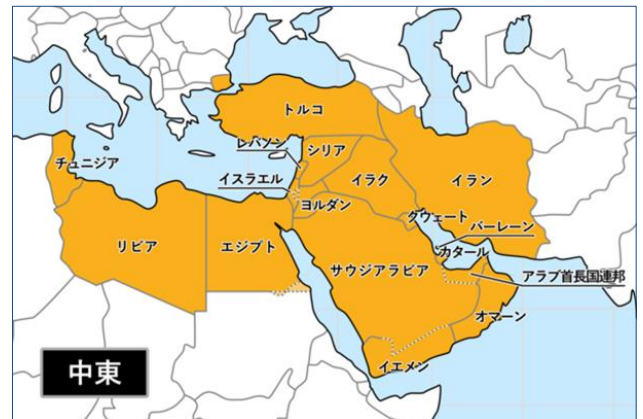
さて、先日 たまたま50歳くらいの主婦と昼食を伴にする機会がありました。その際、突然「イスラエルは何故戦争しているんですか？」

「爆撃を受けたガザ地区の子供や女性を日本は何故助けけないのですか？」と質問されました。急な質問だったので、おぼろげな記憶をたどりながら戦争が続く経緯をお話しました。「どちらが良いとか悪いとかは分かりませんが、関係のない人が死んでいるんですよ。なぜ、日本はガザ地区を援助しないのですか？アメリカに気を使っているんですか？」と。このあまりにも自然な疑問に全く反論する余地は有りませんでした。

人道的支援とは何かを語っても、理屈では目の前で苦しんでいる人をひとりも助けることはできません。私たちひとりひとりが、今できる事をやらなければならないと強く感じた瞬間でした。

次年度の中田会長予定者は、石田先生が従前から取り組まれておられるスリランカの眼科医療の支援を高田クラブの国際奉仕事業に取り入れようと計画されています。いきなり角膜移植の環境整備までは出来ないかもしれませんが「今できる事」に取り組むことが大切だと思います。私は中田年度の国際奉仕委員会の活動を心から応援したいと思います。

その為にも、先ほどの理事会で高田クラブの会計の中に、本会計とは別に、社会奉仕会計があるように、新しく「国際奉仕会計」を設けてはどうかと提案させて頂きました。今年度も次年度への繰越金が多くなりそうなことと、国際奉仕活動は複数年に及ぶことが予想される中で、年度を跨いだ事業を行いやすくするためです。皆様からのご意見も頂きながら、出来れば大島年度の中で「国際奉仕会計」を立ち上げたいと思います。



## 出席報告

94.74%

## 幹事報告

配布物：週報No.35、クラブ協議会資料

報告：6月より通常例会、6/25最終例会は夜例会の予定

### クラブ協議会

### 2021-2022年度地区研修・協議会参加報告



#### 会長エレクト 中田 正君

5月22日、地区研修・協議会が「ANA クラウンホテル新潟」をメイン会場に開催されました。コロナ対策のため、地区役員がメイン会場にて、高田クラブの出席対象者は「宇喜世」にてリモート会議での参加となりました。2021-22年度のガバナー高尾茂典氏よりRIと地区のテーマならびに優先活動項目が発表されました。2021-22年度国際ロータリー会長は、インド輩出の「シェカール・メータ会長」です。テーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。優先活動項目は次の5つです。①会員増強、②女子のエンパワメント、③ロータリー奉仕デーの実施、④ポリオの完全根絶、⑤7番目の重点分野として新たに追加された「環境保全」です。また、今期の地区のテーマは「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」です。重点目標は①「真のロータリアンを育成すること。」と②「ロータリー活動の認知度を向上すること。」です。



#### クラブ奉仕A 高橋正彦君

第2セッションは、大島誠会長・山田守さんと私の3名出席です。

山崎委員長より、会員増強・戦略・広報・公共イメージ向上の説明がありました。会員増強は、ロータリーの最優先事項の一つで、より大きな変化をもたらすために欠かせない要素です。ロータリーの奉仕の理念を社会に提唱することと、奉仕理念を社会に提唱していく拠点としてのロータリークラブを地域社会に創って行くことであり、会員増強に力を入れている本質的な理由です。戦略計画の土台となる、四つの主な優先事項と目標、インパクト・広げる・積極的なかわり・適応力についての説明があり、ガバナーの公式訪問時に触れて頂くことになっています。広報・公共イメージ向上に関しては、クラブに好ましい公共イメージがあれば、現会員の積極性が引き出され且つ入会への関心も高まります。クラブのイメージを刷新するよう取り組んで下さい等のお話がありました。

数値目標 ・会員増強 各クラブ10%増 ・女性会員数各クラブ会員の15%

田中会員増強委員長より、会員増強の意味・会員増強できるクラブ・目指すクラブの姿を語り合おう等のお話がありました。会員自身が胸を張れないクラブに人は誘えません、楽しいクラブ、意義ある活動をすれば自ずと人が集まるでしょう。

小田広報・公共イメージ向上委員長より、「知ってもらう もっと ロータリーのこと」をスローガンに、認知度を高めていきたい。認知度を高めるには、各種メディアの発信力、ローターアクトとの連携でSNSを活用した広報活動又、市民参加の「ロータリー奉仕デー」開催等のお話がありました。

最後に、高尾ガバナーエレクトの計画された目標に限りなく近づけるよう力を合わせましょう。



#### 職業奉仕委員長 橋詰敏一君

・前半職業奉仕（地区職業奉仕委員長 山田隆一氏）

「ロータリーの職業奉仕」の理念・信念と一緒に学び、そして浸透させたいとの目標より、ロータリー発足からの歴史と職業奉仕の考えと社会奉仕との関連性をフリップを作り、説明された。ロータリーの根幹である職業奉仕の理念の理解を進めていく活動を行うとの事。

・後半社会奉仕（地区社会奉仕委員長 加地正樹氏）

高尾年度は、海岸美化プロジェクトを推進し、2022年6月に「ロータリー奉仕デー」として、海岸・美化プロジェクトを地区全体で行い、且つ、実施条件2クラブ以上の共同事業で且つ25%以上の一般参加率を得る事。また、他の奉仕活動として「子ども食堂」や「フードバンクへの支援」の展開とその注意点を述べられた。また、佐藤年度の社会奉仕実施状況を紹介された。



#### 青少年奉仕委員長 長谷川優太君

初めて「地区研修・協議会」に参加させていただきました。シェカール・メータRI会長の提唱する2021-22年度のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」に感銘を受け、「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」の言葉が、私の狭かった視野を広げ、心の中で爽やかな風が吹き小さかった芽が少しずつ育っているように感じます。

テーマを実現させるための高尾茂典ガバナーエレクトの地区運営方針を理解し、重点目標、数値目標を達成できるよう青少年奉仕委員の立場から全力を尽くしたいと思います。

青少年奉仕委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、ライラ委員会、青少年交換委員会の各委員長から委員会の役割、今後の活動計画について教えていただきました。活動については、様々な制限・制約がある中でも、今でできることを精一杯考え、情勢に合わせて対応していきたいと前向きなお話しをきくことが出来ました。

私は経験は浅いですが、若い世代と接することは良い刺激になると思いますし、少しでも役に立てられるよう尽力いたします。

